

# アカゲラ通信

2017年9月号  
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



## 「レストハウス」営業中

「レストハウス」は営業時間 10 時～17 時で毎日オープンしています。

コーヒー、ソフトクリーム、肉まん、ポテトフライなどのスナック類やピラフなどの軽食をご用意して皆様のご利用をお待ちしております。

## 旭山記念公園内の各場所に名前をつける

旭山記念公園には「栗の木デッキ」「ミュンヘンの森」など、名前がつけられた場所がいくつかあります。

しかし、名前がつけられていない場所の方が多く、例えばホオジロを見た場所を人に教えるのに「展望台西側の橋の北側にある斜面」などと説明しなければなりません(展望台西側の橋は「アーチ橋」といいます)。

そこで「森の家」では、旭山記念公園の各場所に名前をつけてゆくことを考えています。

まだ案の段階ですが、その場所にちなんだ動植物などの名前をつけてゆくと親しみやすくて覚えやすいし、その場所に行けばその名前の動植物が見られる目安にもなると考えています。

例えば、「森の家」付近から「風の丘」に続く道はクマゲラがよく来るので「クマゲラ回廊」、「第一駐車場」から「アーチ橋」をくぐった所にある公衆トイレの前から「森の家」方向に伸びる坂道を「森の家坂」、第 2 駐車場公衆トイレ横の階段を「森の家階段」といったように。

そこでこの記事をお読みいただいている皆様にお伝えしたいことが。

旭山記念公園のこの場所にこんな名前をつけたいというのがありましたら「森の家」までお寄せください！

いつも散歩で通る場所、好きな場所、思い入れのある場所など、どこでも構いません。

右の地図に幾つかこちらが考えた名前を赤太文字で記してありますが、あくまでも候補であって、同じ場所に違う名前を考えていただいてももちろん構いません。



名前をつける作業の過程はこの紙面及びホームページ、掲示板などで逐次報告させていただきます。



## 8月の昆虫「初記録」2大ニュース

◎ニイニイゼミ:セミの仲間ニイニイゼミが8月6日旭山で初めて記録されました。

夕方に「森の家」の前でその鳴き声が聞かれましたが、札幌ではきわめて珍しいようで、旭山でも今回声が聞かれたのはその1回のみでした(写真は撮影できませんでした)。

◎ウラミスジシジミ:「ゼフィルス」の1種、シジミチョウ科のウラミスジシジミが9月2日、旭山で初めて記録されました。

右がその時の写真、これで旭山で正式に記録されたチョウの仲間は55種類となりましたが、このチョウは以前にも何度か見かけたことがあるもので、きちんと調べてゆけばチョウのリストはもう少し数が増えると思われます。



## 「旭山野鳥観察会」「自然観察会」の予定

●「旭山野鳥観察会」は直近が9月9日(土)、その次が10月14日(土)開催となっています。

朝8時「森の家」集合 参加費100円(保険代として) 小雨決行です。

●「自然観察会」は9月23日(土)、秋分の日朝9時半「森の家」集合、参加費100円(同)、小雨決行です。みなさまのご参加をお待ちしております！

# 2017年8月から9月の旭山野鳥情報

2017年7月に観察された鳥たちの特徴的な行動を紹介します。

★ホオジロ：幼鳥もだいぶ大きくなり、展望台付近でも見られる機会が少なくなりました。

★アオジ：「ミュンヘンの森」周辺で「チッ チッ」という声とともに姿よく見られます。

★オオルリ：8月下旬以降は幼鳥成鳥ともに姿を確認できていません。

★コサメビタキ：8月中はよく見られましたが、旭山では9月下旬まで見られます。

★キビタキ：都市環境林で時々「ぐぜり」＝不完全な囁りを聞くことがあります。

★クロツグミ：8月中は「つり橋」から「栗の木デッキ」周辺で幼鳥が見られました。

南に渡る10月上旬まで主に笹藪から「キュッ」という大きい声が聞こえてきます。

★ウグイス：笹藪から「チッチッ」と鳴き声が聞こえてくることが増えました。

★ヤブサメ：今月いっぱい笹藪から「キュキュー」という地鳴きを聞くことができます。

★メジロ：秋は集団で行動し「キューッ」「チイチイ」という声がよく聞かれます。

★アオバト：9月下旬には旭山からいなくなりますが、円山では10月にも見られます。

★シマエナガ：8月中は「栗の木デッキ」付近などで何度か群れが見られました。

★クマゲラ：「森の家」近くでも時々姿が見られます。

★ヤマゲラ：8月下旬以降「森の家」周辺で見られることが多くなりました。

ヤマゲラはあまり鳴き声を発せず知らずに近寄って逃げることが多いのですが、一度に遠くには逃げないので鉢合わせした場合でも観察は比較的容易にできます。

★アカゲラ★コゲラ★ゴジュウカラ★シジュウカラ★ハシブトガラ★ヤマガラ

★カワラヒワ★キセキレイ★キジバト：見られる頻度が比較的高い鳥たちです。

◎秋の囁り：8月下旬から9月にかけて、夏までに囁りをしなくなっていたヤマガラとハシブトガラの囁り声を久し振りに聞きました。

ヒガラは7月に一時聞かれなくなったもののそれ以降また盛んに囁りするようになりました。

囁りは本来繁殖に伴う鳴き声ですが（求愛、縄張り主張、警戒など）、幼鳥が巣立った後に囁りをするのはなぜでしょう？  
可能性のひとつとして、親鳥が幼鳥に囁りを教えていたり、と考えるとどうでしょうか？

コサメビタキ親子



クロツグミ幼鳥



ヤマゲラ雄



## 今月も花二題と植物の「毛」 アキノノゲシ、ゲンノショウコ

### ◎復活したアキノノゲシ

アキノノゲシはキク科の草本で背丈1m超まで高く伸び上の方に花をつけます（写真右上）。

昨年までしばらくの間旭山記念公園では見かけなかったのですが、今年は

「噴水広場」や「展望台」北西斜面などでたくさん花を咲かせています。

アキノノゲシ 上下とも

以前見られた場所もその辺りでしたが、土中にあった種子が眠りから目を

覚まして発芽したのか、土の条件が変わったのか、とにかく今年「復活」しました。

### ◎薄紫色の花のゲンノショウコ

「栗の木デッキ」脇にゲンノショウコの薄紫色の花が咲きました。

旭山で確認されたのは何年ぶりといったところですが、その小群落のみが色が違う花でした。

薄紫色の花のゲンノショウコ→



### ◎植物の「毛」は何のため？

一部の植物の茎や葉には毛が生えていますが、「トライコーム」と呼ばれるこの「毛」、いったい何のためにあるのでしょうか？

①保温、②日よけ、③植物体からの水分蒸発を抑える、④虫が近寄って食べることを困難にする、⑤特殊な物質をため込む、そして⑥空気中の水分を水というかたちで取り込む、などが考えられています。

似たような植物で毛があるかないかや毛の形が識別ポイントになる場合もありますが（シナノキとオオバボダイジュの葉など）、決して人間のためにあるのではないですね。

## 編集後記

今年もカケス（亞種ミヤマカケス）が山から降りて来る時期になりました。

しかし昨年は旭山でほとんどカケスを見ない寂しい冬でした。

一方で昨年は9月1日が初日で冬の間もずっとよく見られていました。

今年はどうか？ カケスを見かけた方はぜひ「森の家」にご一報を！



公式サイト

「アカゲラ通信」 第46号 2017（平成29）年9月8日発行

発行：（公財）札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先：電話011-200-0311（土・日・祝日10時～16時）FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>